

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 30 年度

市町村名	幸手市		
提案事業名	中小企業発掘プロジェクト		
事業期間	30 年度	～	30 年度
事業の必要性、目的	<p>職場見学会を開催し、市内・近隣の高校及び包括連携協定を締結する日本工業大学の学生を招き、市内の事業所の見学会を行うことで、後継者の確保、幸手市の企業やものづくりへの関心を高める。</p> <p>また、市内の企業主を日本工業大学に招き、大学構内や学生の学習活動の見学及び企業説明会を行うことにより、交流及び雇用の機会を得る。</p> <p>さらに、「幸手市ものづくりブランド認定制度（仮称）を創設し、中小企業が製造した製品を認定した上で、全国に広く発信し、販路の拡大を支援する。</p>		
成果指標	（成果を検証する指標）		
	職場見学・大学見学の交流者数		
	（成果検証の具体的な方法）		
	職場見学・大学見学の交流者数		
	（上記の指標を設定した理由）		
	市内に小規模ながら高水準の技術をもつ中小企業が少なからず存在する。このような事業者と高校や大学と職場や大学見学会を相互に行い、学生の就職等に関心を高め、後継者育成につなげるため。		
	（成果の目標値）		
現状値 （30年1月現在）	0人	目標値 （31年1月時点）	40人
（施設建設等の場合）			
年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（％）	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページ		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成30年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 中小企業発掘事業	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">ハードソフト間接補</div> <div>市と商工会が連携し、市内の中小企業の実態調査を行い、市内外に誇れる産業の紹介を掲載する産業ガイドブックを作成するとともに、実態調査により把握できた各企業の強み・弱みを知ってもらい、生産性や経営力の向上、販路拡大に活用する。産業ガイドブックは、各企業において市民まつり等のイベントで配布し、PRや後継者確保に活用する。</div> </div>	4,600
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		4,600

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	学生の就職や起業に向けた興味深いことをテーマに掲げる。また、事業者にとって、最新の研究に触れる機会を設ける。
成果指標の達成見込み	市内事業者、大学、行政が一体となって本事業を推進し、全事業を相対的に実施することにより、十分な成果が得られると判断した。